

障害のある子どものために

「特別支援教育」学習会

12月3日、ほけんセンターにおいて、障害のある児童・生徒一人ひとりの教育的要望に応じた支援を行う、「特別支援教育」についての学習会が開催され、関係機関から約40名が参加しました。

これは町教育委員会と浜頓別町障害児教育推進協議会が主催し、特別支援教育のあり方や基本的な考え方について、多くの方々への学習する機会として開催されたものです。

講演では、北海道稚内養護学校佐藤光司校長が、今後の特別支援教育のあり方をテーマに、特別支援教育の社会的背景や先進校等の取り組みについて講話されました。



暮らしを支える税

「年末納税推進月間」

納税の促進を図るため、町と町納税貯蓄組合連合会、同青年部が中心となって、「年末納税推進月間」を設け、12月1日～26日までの約1カ月間納税推進に取り組み、滞納整理に努めました。

今年「暮らしを支える税」をテーマに、街頭PRや納税相談、小学生の税についての感想文の募集等を行い、納税への理解を深め、納税のお願いをしてきました。

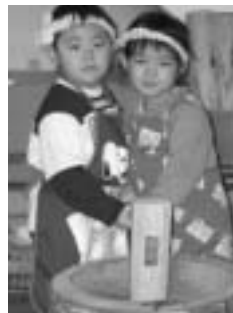
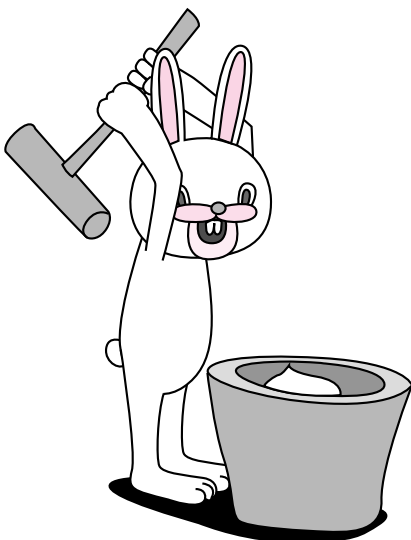


ホットなまちの話題

皆さんの身近にある楽しい話題や、ホットなできごとを総務課 企画広報係までお知らせ下さい。
☎ 2-2345
内線 215 まで

ぺったん！
ぺったん！

もちつき会



浜頓別幼稚園
もちつき会



浜頓別保育所
もちつき会





火災がおきないように 安全性を高めたランプ

安全灯

ランプは江戸時代末頃に日本に輸入され、明治の初めに国産化され、明治後期から大正初期にかけて全国的に普及した。

一般家庭で主に用いられたのは、平芯（ひらしん）ランプや巻芯（まきしん）ランプであった。平芯ランプは芯の幅により二分芯ランプ、三分芯ランプなどとよばれた。ランプは天井から吊る吊りランプと、床や机の上に置く置きランプがあるが、共に取り扱いの不注意による火災が絶えなかった。

安全灯は平芯ランプを改良したもので、ホヤの割れを防ぐためのフレームや針金製のガードをつけ、ホヤの上から排気熱が直接上に上がらないように、ホヤの上に鉄製のカバーを付けて熱を拡散する工夫をし、安全性を高めたランプである。

ランプは油煙（ゆえん）がでてホヤが汚れるので毎日ホヤを磨かなくてはならなかった。



▲郷土資料館に展示している安全灯

皆さんからの意見・提言に お答えします。

遺族年金等の申告について

遺族年金等を受給している方がいますが、それは年間の所得に入るのですか？

もし入るとしたら、申告していない人がたくさんいるみたいですが、そのようなことを見過ごさないと、きちんと調べて対応してください。

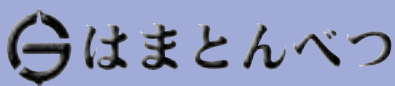
お答えします

現在のところ、遺族年金や障害年金については、金額の多少にかかわらず非課税所得

として、課税の対象になりません。そのほかにも公益上や政策上などで、課税の対象にならない所得があります。例えば：

- ① 障害者や遺族などが受け取る恩給・年金など（遺族年金・障害年金）
- ② 雇用保険の失業給付
- ③ 健康保険等の保険給付
- ④ 児童手当法により支給を受ける児童手当
- ⑤ 当せん金付証券（宝くじ）の当選金品

【役場住民課税務係】



浜頓別町役場

〒098-5792

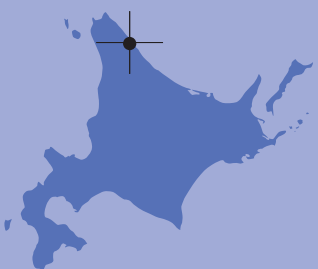
北海道枝幸郡浜頓別町中央南1番地

TEL (01634)2-2345(代表)

FAX (01634)2-4766(代表)

浜頓別町役場公式ホームページ

<http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>



東経 142° 8 ~ 142° 30

北緯 44° 16 ~ 45° 11

面積 401.51 km²